

2021 年度入学者選抜方法・配点など

【文学部 国文学科 各入試の選抜方法等】

■ 前期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、調査書を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 |
|--------|--------|----------------|--|------------|-------------------|------|---------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | |
| 前期一般選抜 | 3教科3科目 | 国語 | 「国語」 | (必須) | | 300 | 課さない |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 「地理 B」 | 1科目選択 | 1科目選択 | 100 | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 | 1科目選択 | 100 | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | または (B) | 100 | |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | |
| | | 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | 1科目選択 (必須) | | 100 | |
| | | | | | 計 500 点 (下記 7 参照) | | |

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」と「外国語」を必須とします。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点した上で、300点満点に換算します。
- 3) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含み

ます。

- 4) 外国語の「英語」に関しては、「大学入学共通テスト」のみを対象とし、民間資格・検定試験の結果を利用することはできません。
- 5) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 6) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 7) 「大学入学共通テスト」の500点満点とします。
- 8) 調査書は主に、受験者の合否判定の資料として活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。

■ 中期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、第二次学力検査(個別学力検査)、調査書により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、個別学力検査、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、個別学力検査、調査書を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 (試験時間) |
|----------------|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|------------|-------------------|--------------|-----------------------|-------------------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | | |
| 中期 一般 選抜 | 3教科 3科目 | 国語 | 「国語」 | 必須 | | 200 | 国語 (国語総合・現代文B・古典B) | 300点 (100分) |
| | | 地理歴史 | 「世界史B」「日本史B」 「地理B」 | 1科目選択 | | 100 | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 | | | | | |
| | | 数学 | 「数学I」「数学I・数学A」 「数学II」「数学II・数学B」 | 1科目選択 | | 100 | | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または (B) | 100 | | |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | | |
| 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | 1科目選択(必須) | | 200 | | | | |
| | | | | | | 計800点(下記7参照) | | |

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。「国語」と「外国語」を必須とします。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点した上で200点満点に換算します。
- 3) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 4) 外国語の「英語」に関しては、「大学入学共通テスト」のみを対象とし、民間資格・検定試験の結果を利用することはできません。
- 5) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 6) 理科の基礎を付した科目(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 7) 「大学入学共通テスト」(500)・個別学力検査(300)の合計800点満点とします。
- 8) 調査書は主に、受験者の合否判定の資料として活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。

■ 学校推薦型選抜

〈選考方法〉

小論文と調査書・推薦書の総合判定により合格者を決定します。日本漢字能力検定、語彙・読解力検定、実用英語技能検定試験の資格（いずれも準2級以上）、TOEFL iBT、TOEIC、TOEIC Bridge、GTEC のスコアを推薦書中の「活動・資格等の記録」における評価の対象に含めます。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に小論文、調査書・推薦書を活用します。
 2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に小論文、調査書・推薦書を活用します。
 3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書・推薦書を活用します。
- 小論文(210)、調査書の評定平均値(60)、調査書の「事実の記録」・推薦書の「活動・資格等の記録」(30) の合計 300 点満点とします。
 - 出願資格は、評定平均値 3.6 以上といたします。
 - 調査書・推薦書は、入試の選抜に活用するのみならず、合格者の入学後の教育にも活用します。

【文学部 英文学科 各入試の選抜方法等】

■ 前期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

「調査書」「志願書」を活用し「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を測ります。

〈試験利用教科・配点〉

(1) 3教科3科目型・計400点

(2) 5教科5科目型・計600点

出願要件ではないが、CEFRのA2以上あるいはそれに相当する英語の能力を有する者が望ましい。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト利用教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 | |
|--------|-----------------|------------------|--------------------------------------|------------|--------------------|------|---------|-----|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | | |
| 前期一般選抜 | 3教科3科目または5教科5科目 | 国語 | 「国語」 | 1科目選択 | 100 | 課さない | | |
| | | 地理歴史 | 「世界史B」「日本史B」「地理B」 | | | | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」 | 1科目選択 | 100 | | | |
| | | 数学 | 「数学I」「数学I・数学A」 「数学II」「数学II・数学B」 | | | | | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または (B) | | | 100 |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | | |
| 外国語 | 「英語」 | (必須) * | | 200 | | | | |
| | | | | | 3科目型計400点 5科目型計600 | | | |

●外国語の「英語」には、「英語」の一領域と実施される「リスニングテスト」を含みます。

●選択の教科・科目について、利用教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を使用します。

●理科の基礎を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)については、2科目の受験で1科目とみなします。

***外部試験活用する方法として、CEFRのB2以上あるいはそれに相当する英語の能力を有している場合は、大学入学共通テストの英語の得点を満点とみなす。**

■ 中期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、第二次学力検査(個別学力検査)、により合格者を決定します。

「調査書」「志願書」を活用し「主体性・多様性・協働性」を測ります。

〈試験利用教科・配点〉

国語は必須ではなく、配点は100点満点である。

英語の個別試験の配点は200点満点である。

1) 3教科3科目型+英語個別試験=合計600点

2) 5教科5科目型+英語個別試験=合計800点

英語の個別試験では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を測ります。

出願要件ではないが、CEFRのA2以上あるいはそれに相当する英語の能力を有する者が望ましい。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト利用教科・科目 | | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点(試験時間) | |
|--------|-----------------|------------------|------------------------------|--------|---------------|--------------------------|-------------------------------------|---------------|------------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | | | |
| 中期一般選抜 | 3教科3科目または5教科5科目 | 国語 | 「国語」 | | 2科目選択または4科目選択 | 100 | 英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ) | 200点(100分) | |
| | | 地理歴史 | 「世界史B」「日本史B」「地理B」 | | | 1科目選択 | | | 100 |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」 | | | | | | 1科目選択 |
| | | 数学 | 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 | | | から2 (A) または (B) | | | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 | | | | | | から1 (B) |
| | | | 「物理」「化学」「生物」「地学」 | | | | | | |
| | | 外国語 | 「英語」 | | | (必須) * | | | 200 |
| | | | | | | 3科目型計600点 5科目型計800点 | | | |

●外国語の「英語」には、「英語」の一領域と実施される「リスニングテスト」を含みます。

●選択の教科・科目について、利用教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を使用します。

●理科の基礎を付した科目(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)については、2科目の受験で1科目とみなします。

***外部試験活用する方法として、CEFRのB2以上あるいはそれに相当する英語の能力を有している場合は、大学入学共通テストの英語の得点を満点とみなします。**

■ 学校推薦型選抜（推薦入試）

〈選考方法〉

小論文と調査書・推薦書の総合判定により合格者を決定します。

「調査書」「志願書」を活用し「主体性・多様性・協働性」を測ります。

〈観点別評価項目〉

「小論文」が 70 パーセントで、「提出書類」が 30 パーセントの割合で合否判定を行っている。

「小論文」は、英語の基本的な読解力と表現力を見る問題形式であり、それによって、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を重点的に測ります。

出願要件ではないが、CEFR の A2 以上あるいはそれに相当する英語の能力を有する者が望ましい。

● 出願資格は、評定平均値 3.8 以上といたします。

■ 総合型選抜(従来の AO 入試)

〈エントリー資格〉

[資格評価型]

- 1) 実用英語技能検定試験（英検）の 2 級以上を取得している。準 1 級以上の場合、実技試験は免除されます。
- 2) TOEIC で 490 点以上を得点している。730 点以上の場合、実技は免除される。（推薦入試とは異なり、IP テストの Score Report は認められません。）
- 3) TOEIC Bridge で 155 点以上を得点している。（推薦入試とは異なり、IP テストの Score Report は認められません。）
- 4) TOEFL で次の条件を満たしている。iBT(インターネット版)で 48 点以上。79 点以上の場合、実技は免除される。（推薦入試とは異なり、ITP のスコアは認められません。）

[活動評価型]

- 1) 都道府県レベルの英語スピーチ・コンテスト（レシテーション・コンテストは除く）において 3 位以内に入賞したことがある。
- 2) 高等学校在学中に、英語で授業を行っている海外の高等学校に一学年相当留学したことがある。
- 3) 日本語（国語）以外の科目の授業を英語で行っている国内および海外の高等学校を卒業している。

「調査書」「志願書」を活用し「主体性・多様性・協働性」を測ります。

実技は「英文の日本語要約」「英文和訳」「日本語の英文要約」「和文英訳」で、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を測ります。

口述試験では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に測ります。

【文学部 比較文化学科 各入試の選抜方法等】

【各入試の選抜方法等】

■ 前期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、および配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 | |
|--------|--------|----------------|--|------------|-------------------|------|---------|--|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | | |
| 前期一般選抜 | 3教科3科目 | 国語 | 「国語」 | (必須) | 200 | 課さない | | |
| | | 地理歴史 | 「世界史 A」「世界史 B」 「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」 | 1科目選択 | 200 | | | |
| | | | 公民 | | | | | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治、経済」 |
| | | 数学 | | | | | | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または (B) | | | 200 |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | | |
| | | 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | 1科目選択 (必須) | | | | 200 |
| | | | | | 計 600 点 | | | |

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」および「外国語」を必須とします。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 4) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問

の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。

- 5) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 6) 選択の教科・科目について、利用教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 調査書は点数化せず、受験者の本学科への適性を考慮するために活用します。また合格者の入学後の教育にも活用します。
- 8) 志願書は点数化せず、比較文化学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に活用します。

■ 中期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査（「大学入学共通テスト」）、第二次学力調査（個別試験（英語））、調査書、志願書により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、個別試験（英語）を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、個別試験（英語）を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、および配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 (試験時間) | |
|------------|------------|----------------|--|------------|-------------------|------|---|----------------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | | |
| 中期 一般選抜 | 3教科 3科目 | 国語 | 「国語」 | (必須) | | 100 | 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 英語表現Ⅰ) | 300点 (100分) |
| | | 地理歴史 | 「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 | 1科目選択 | | 100 | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治、経済」 | 1科目選択 | | 100 | | |
| | | 数学 | 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 | 1科目選択 | | 100 | | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または (B) | 100 | | |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | | |
| | | 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | 1科目選択(必須) | | 100 | | |
| | | | | | 計600点 | | | |

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」および「外国語」を必須とします。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 4) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。
- 5) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 6) 選択の教科・科目について、利用教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 調査書は点数化せず、受験者の本学科への適性を考慮するために活用します。また合格者の入学後の教育にも活用します。
- 8) 志願書は点数化せず、比較文化学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に活用します。

■ 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

● 大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、および配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 |
|--------------------|-----------------|----------------|--|------------|-------------------|------|---------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | |
| 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜 | 3教科4科目または4教科4科目 | 国語 | 「国語」 | (必須) | | 100 | 課さない |
| | | 地理歴史 | 「世界史 A」「世界史 B」 「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」 | 1科目選択(必須)※ | | 100 | |
| | | | 公民 | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 | | 100 | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または (B) | 100 | |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | |
| | | 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | 1科目選択(必須) | | 100 | |
| | | | | | 計 400 点 | | |

1) 3教科4科目または4教科4科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」および「地理歴史・公民」「外国語」を必須とします。

※複数教科受験している場合は、高得点1科目を必須。残りの1科目は選択扱い。地理歴史で2科目選択も可。

2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。

3) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。

4) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問

の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。

- 5) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 6) 選択の教科・科目について、利用教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 志願書は点数化せず、比較文化学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に活用します。
- 8) 大学入学共通テスト(400)、調査書(100)の合計 500 点満点とします。調査書（推薦書）の「活動・資格等の記録」において、民間資格・検定試験の結果を活用します。

■ 学校推薦型選抜

〈選考方法〉

小論文、及び提出された書類の総合判断により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に小論文、調査書を活用します。
 2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に小論文を活用します。
 3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。
- 志願書は点数化せず、比較文化学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に活用します。
 - 小論文(210)、調査書(90)の合計 300 点満点とします。調査書（推薦書）の「活動・資格等の記録」において、民間資格・検定試験の結果を活用します。
 - 出願資格は、評定平均値 3.6 以上といたします。

【文学部 国際教育学科 各入試の選抜方法等】

■ 前期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

● 大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 |
|--------|--------|----------------|--|------------|-----------------------------|------|---------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | |
| 前期一般選抜 | 3教科3科目 | 国語 | 「国語」 | (必須) | | 100 | 課さない |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 「地理 B」 | 1科目選択 | 1科目選択 | 100 | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治、経済」 | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 | 1科目選択 | 100 | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または | 100 | |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | (B) | | |
| | | 外国語 | 「英語」 | (必須)* | | 300 | |
| | | | | | 3科目型 500点 (下記 8、9、10 参照) | | |

*CEFR の B2 (準1級) 以上の英語の能力を有している場合は、大学入学共通テストの英語の得点を満点として換算します。

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」と「英語」の両方を必須とします。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。
- 4) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含み

ます。

- 5) 外国語の「英語」に関しては、英語の民間資格・検定試験の結果を参考として活用します。英語外部試験では、文科省が認めたすべての団体が利用できます。
- 6) 選択の教科・科目について、利用教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 8) 3教科3科目型ではセンター試験の合計500点満点とします。
- 9) 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
- 10) 志願書は国際教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。

■ 中期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査（「大学入学共通テスト」）、第二次学力調査（小論文）、調査書、志願書により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、小論文、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、小論文を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 (試験時間) |
|------------|------------|----------------|--|------------|-------------------|------------------------------|------|-------------------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | | |
| 中期 一般選抜 | 3教科 3科目 | 国語 | 「国語」 | (必須) | | 100 | 小論文 | 300点 (100分) |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 「地理 B」 | 1科目選択 | | 100 | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治、経済」 | | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 | | 100 | | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または (B) | 100 | | |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | | |
| | | 外国語 | 「英語」 | (必須)* | | 200 | | |
| | | | | | | 3科目型 700点 (下記 8、9、 10、参照) | | |

*CEFR の B2 (準 1 級) 以上の英語の能力を有している場合は、大学入学共通テストの英語の得点を満点として換算します。

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。「国語」と「英語」の両方を必須とします。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。
- 4) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 5) 外国語の「英語」に関しては、英語の民間資格・検定試験の結果を参考とします。英語外部試験では、文科省が認めたすべての団体が利用できます。
- 6) 選択の教科・科目について、利用教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 8) 3教科3科目型では「大学入学共通テスト」(400)・個別試験(300)の合計700点満点とします。
- 9) 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。

10) 志願書は、国際教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。

■ 学校推薦型選抜 I (一般推薦入学試験)

〈選考方法〉

小論文、及び提出された書類の総合判断により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に小論文、調査書を活用します。
 2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に小論文を活用します。
 3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。
- 小論文の合計 100 点満点とします。
 - 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
 - 志願書は、国際教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。
 - 出願資格は、評定平均値 3.8 以上とし、CEFR の A2 (英検準 2 級レベル) 以上の英語能力を有する者とする。

■ 学校推薦型選抜 II (従来の IB 推薦)

〈選考方法〉

小論文、及び調査書、志願書、面接等により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に小論文、調査書を活用します。
 2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に小論文と面接を活用します。
 3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。
- 小論文は 100 点満点とします。
 - 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
 - 志願書は、国際教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。

出願資格

- CEFR の A2 (英検準 2 級レベル) 以上の英語能力を有する者
- 日本語 A の取得者で、IB 科目のうち 5 点以上取得した科目が 1 つ以上ある者

■ 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 |
|----------------------|------------|----------------|--|------------|---------------------|------|---------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | |
| 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜 | 3教科3科目 | 国語 | 「国語」 | (必須) | | 100 | 課さない |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 | 1科目選択 | 1科目選択 | 100 | |
| | | | 「地理 B」 | | | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 | | | | |
| | | | 「政治・経済」 「倫理、政治、経済」 | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 | 100 | | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または | 100 | |
| 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | (B) | | | | |
| 外国語 | 「英語」 | (必須)* | | 300 | | | |
| | | | | | 3科目型 500点 (下記8) 参照) | | |

*CEFRのB2(準1級)以上の英語の能力を有している場合は、大学入学共通テストの英語の得点を満点として換算する。

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」と「英語」の両方を必須とします。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。
- 4) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。

- 5) 外国語の「英語」に関しては、英語の民間資格・検定試験の結果を参考とします。英語外部試験では、文科省が認めたすべての団体が利用できます。
- 6) 選択の教科・科目について、利用教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 8) 大学入学共通テストの合計 500 満点とします。
- 9) 志願書は、国際教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。
- 10) 出願資格として CEFR の A2（英検準2級レベル）以上の英語能力を有する者とする。

■ 総合選抜（従来の AO）

〈選考方法〉

小論文、プレゼンテーション、調査書、志願書、面接等により選考を行います。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に小論文、プレゼンテーション、調査書を活用します。
 2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に小論文、プレゼンテーションを活用します。
 3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。
- 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
 - 志願書は、国際教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。
 - プレゼンテーションは、DP 取得者は課題論文の写し、それ以外の者は特に学んだテーマや探究したテーマについて、事前にその内容を書いた文章を提出し、それについて発表をおこなってもらいます。

出願資格

- CEFR の A2（英検準2級レベル）以上の英語能力を有する者
- DP フルディプロマ取得者（日本語 A を取得している者が望ましい）
- 海外留学もしくは海外在住経験 1 年以上で、現地の学校やインターナショナルスクール等で英語による科目の単位取得者
- スーパーハイスクールで、特に顕著な学業上または活動上の実績を修めた者
- 都道府県レベルの高校の英語スピーチコンテストや英語ディベートコンテストで 3 位以内に入賞したことがある者
- 以下の者は、小論文は満点と見なす。

英検準 1 級以上、TOEIC730 点以上（ただし IP テストの Score Report は認めない）、TOEFL iBT（インターネット版）で 79 点以上

【教養学部学校教育学科各入試の選抜方法等】

■ 前期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

● 大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 |
|----------------------|-------------------------------------|----------------|--|---------------------------|--------------------------|------|---------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | |
| 前期一般選抜 | 3教科3科目 | 国語 | 「国語」 | (「数学」といずれか一方を必須) | 200 | 課さない | |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 | 1科目選択 | 200 | | |
| | | | 「地理 B」 | | | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 | 1科目選択 | 200 | | |
| | | | 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 (「国語」といずれか一方を必須) | 200 | | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または (B) | | |
| 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | | | | |
| 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | 1科目選択 | 200 | | | | |
| | | | | | 3科目型 600点 (下記 8、9、10 参照) | | |

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」または「数学」のいずれかを必須とします(両方選択することも可能)。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問

の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。

- 4) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 5) なお、外国語の「英語」に関しては、「大学入学共通テスト」のみを対象とし、民間資格・検定試験の結果を利用することはできません。
- 6) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 8) 3教科3科目型では大学入学共通テスト(600)の合計600点満点とします。
- 9) 調査書は、志願者の合否判断の資料として用います。
- 10) 志願書は、学校教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。

■ 中期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、第二次学力調査(小論文)、調査書、志願書により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、小論文、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、小論文を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 (試験時間) |
|--------|-----------------|----------------|--|------------------------------------|---|------|------------------------------------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | |
| 中期一般選抜 | 3教科3科目または5教科5科目 | 国語 | 「国語」 | （「数学」といづれか一方を 必須 ） | | 200 | 小論文（1000字程度） 200点 (100分) |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 「地理 B」 | 1科目選択 | | 200 | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 （「国語」といづれか一方を 必須 ） | | 200 | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または (B) | 200 | |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | |
| | | 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | 1科目選択 | | 200 | |
| | | | | | 3科目型 800点（下記9、10、11参照） 5科目型 1200点（下記8、10、11参照） | | |

- 1) 3教科3科目型、5教科5科目型の選抜方法を用います。3教科3科目型選抜方法においては「国語」または「数学」のいずれかを必須とします（両方選択することも可能）。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。
- 4) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 5) なお、外国語の「英語」に関しては、「大学入学共通テスト」のみを対象とし、民間資格・検定試験の結果を利用することはできません。
- 6) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。

- 8) 5教科5科目型では「大学入学共通テスト」(1000)・個別試験(200)の合計1200点満点とします。
- 9) 3教科3科目型では「大学入学共通テスト」(600)・個別試験(200)の合計800点満点とします。
- 10) 調査書は、志願者の合否判断の資料として用います。
- 11) 志願書は、学校教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。

■ 学校推薦型選抜

〈選考方法〉

小論文、及び提出された書類の総合判断により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に小論文、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に小論文を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。
 - 小論文(210)、調査書(90)の合計300点満点とします。
 - 志願書は、学校教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。
 - 出願資格は、評定平均値3.6以上といたします。

■ 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 |
|--------------------|-------------------------------------|----------------|--|---------------------------|-------------------|------|---------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | |
| 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜 | 3教科3科目 | 国語 | 「国語」 | （「数学」といずれか一方を必須） | | 100 | 課さない |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 「地理 B」 | 1科目選択 | 100 | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 （「国語」といずれか一方を必須） | | 100 | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) | 100 | |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | または (B) | | |
| 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | 1科目選択 | | 100 | | | |
| | | | | | 3科目型 500点（下記8）参照） | | |

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」または「数学」のいずれかを必須とします（両方選択することも可能）。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。
- 4) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 5) なお、外国語の「英語」に関しては、「大学入学共通テスト」のみを対象とし、民間資格・検定試験の結果を利用することはできません。
- 6) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 8) 大学入学共通テスト(300)、調査書(200)の合計 500 満点とします。
- 9) 志願書は、学校教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。

■ 総合選抜第Ⅰ期（従来のAOⅠ期）

〈選考方法〉

調査書、自己アピール書（活動実績を含む）、小論文、面接等により選考を行います。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するために、主に自己アピール書（活動実績を含む）、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するために、主に小論文、調査書、面接を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するために、主に自己アピール書（活動実績を含む）、調査書、面接を活用します。

■ 総合選抜第Ⅱ期（従来のAOⅡ期）

〈選考方法〉

小論文、実技・プレゼンテーション、調査書、自己アピール書（活動実績を含む）、面接等により選考を行います。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に小論文、実技・プレゼンテーション、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に小論文、実技・プレゼンテーションを活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、自己アピール書（活動実績を含む）を活用します。
 - 志願書は、学校教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。

■ 総合選抜第Ⅲ期（従来のAOⅢ期）

〈選考方法〉

調査書、自己アピール書、口頭試問、面接、学力検査（「大学入試共通テスト」）により選抜を行います。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、口頭試問、大学入試共通テスト、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に口頭試問を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、自己アピール書、面接を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | | 配点 |
|-------------|--------|----------------|------------------------------|-----------------|-----|-------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法(A)または(B) | | |
| | | | | (A) | (B) | |
| 総合選抜 第Ⅲ期 | 1教科2科目 | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 | / | 計200点 |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 | | |

- 大学入試共通テストでは、理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。また同一名称を付した「基礎を付した科目」と「基礎を付さない科目」の組み合わせ（例「物理基礎」と「物理」）は不可。
- 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜との併願はできません。
- 志願書は、学校教育学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。

【教養学部 地域社会学科 各入試の選抜方法等】

■ 前期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 | |
|--------|-----------------|----------------|--|--|-------------------|------|---------|-----|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | | |
| 前期一般選抜 | 2教科3科目または3教科3科目 | 国語 | 「国語」 | (必須) | 150 | 課さない | | |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 「地理 B」 | 1科目選択(必須) 2科目選択可能(高得点) 1科目目が200点 | 200 (150) | | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 | | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 | 150 | | | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | (A) または (B) | | | 150 |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | | |
| | | 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | 1科目選択 | 150 | | | |
| | | | | | 計 500 点 | | | |

- 1) 2教科3科目型または3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」を必須とします。「地理歴史」と「公民」については、1科目を必須(200点)とし、複数科目受験の場合、他の1科目(点数が低い方:150点)を選択とすることも可能です。地理歴史で2科目選択も可。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来の

マークシート式と同様の取り扱いとします。

- 4) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 5) 外国語の「英語」に関しては、「大学入学共通テスト」のみを対象とし、民間資格・検定試験の結果を利用することはできません。
- 6) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 8) 「大学入学共通テスト」の500点満点とします。
- 9) 調査書は点数化せず、主に受験者の本学科への適性を評価するために活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
- 10) 志願書は点数化せず、地域社会学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。

■ 中期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査（「大学入学共通テスト」）、第二次学力調査（小論文）、調査書、志願書により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、小論文、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、小論文を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 (試験時間) | |
|------------|------------|----------------|--|------------------------|------------|---------------------|-------------------|-----|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | | |
| 中期 一般選抜 | 3教科 3科目 | 国語 | 「国語」 | | 150 | 小論文 (800 字程度) | 300点 (100分) | |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 「地理 B」 | 1科目選択 (必須) 2科目選択は不可 | 150 | | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 | | | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | 1科目選択 | 150 | | | |
| | | 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 | から2 (A) | または (B) | | | 150 |
| | | | 「物理」「化学」 「生物」「地学」 | から1 (B) | | | | |
| | | 外国語 | 「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」 | 1科目選択 (必須) | 100 | | | |
| | | | | | 計 700 点 | | | |

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「地理歴史」と「公民」については1科目を必須とします。2科目選択はできません。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。
- 4) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 5) 外国語の「英語」に関しては、「大学入学共通テスト」のみを対象とし、民間資格・検定試験の結果を利用することはできません。
- 6) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 8) 「大学入学共通テスト」(400)、個別試験 (300) の 700 点満点とします。
- 9) 調査書は点数化せず、主に受験者の本学科への適性を評価するために活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
- 10) 志願書は点数化せず、地域社会学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者

の適性判断に用います。

■ 学校推薦型選抜

〈選考方法〉

小論文、及び提出された書類の総合判断により合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に小論文、調査書を活用します。
 2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に小論文を活用します。
 3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。
- 小論文(210)、調査書(90)の合計 300 点満点とします。
 - 調査書の内訳は、評定平均を 60 点満点、活動記録を 30 点満点として点数化します。
 - 志願書は点数化せず、地域社会学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。
 - 出願資格は、評定平均値 3.6 以上といたします。

■ 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。個別学力試験等は実施しません。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に「大学入学共通テスト」を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主に調査書、志願書を活用します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

| 日程 | 必要な科目数 | 大学入学共通テスト教科・科目 | | | 配点 | 個別試験 | 個別試験の配点 | |
|--------------------|-----------------------|----------------|--|-------------------|-----------------------|------|---------|--------------|
| | | 教科 | 科目 | 科目選択方法 | | | | |
| 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜 | 3教科4科目または4教科4科目 | 国語 | 「国語」 | (必須) | 100 | 課さない | | |
| | | 地理歴史 | 「世界史 B」「日本史 B」 | | 1科目選択(必須) | | | 200 (100) |
| | | | 「地理 B」 | | | | | |
| | | 公民 | 「現代社会」「倫理」 | | 2科目選択可能(高得点1科目目が200点) | | | |
| | | | 「政治・経済」 | | | | | |
| | | 「倫理、政治・経済」 | | 1科目選択 | 100 | | | |
| | | 数学 | 「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」 | | | | | |
| 理科 | 「物理基礎」「化学基礎」 | | から2 (A) | (A) または 100 | | | | |
| | 「生物基礎」「地学基礎」 | | から1 (B) | | | | | |
| 外国語 | 「英語」「ドイツ語」 | | 1科目選択(必須) | 100 | | | | |
| | 「フランス語」「中国語」 「韓国語」 | | | | | | | |
| | | | | | 500点 | | | |

- 1) 3教科4科目型または4教科4科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」と「外国語」を必須とします。「地理歴史」と「公民」については、1科目を必須とし、複数科目受験の場合、他の1科目(点数の低い方)を選択とすることも可能です。地理歴史で2科目選択も可。
- 2) 「国語」では、記述式問題の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
- 3) 「数学」の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、および大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式と同様の取り扱いとします。
- 4) 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。
- 5) 外国語の「英語」に関しては、「大学入学共通テスト」のみを対象とし、民間資格・検定試験の結果を利用することはできません。
- 6) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 7) 理科の基礎を付した科目(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 8) 大学入学共通テスト(500)、調査書(100)の合計600満点とします。
- 9) 調査書は点数化せず、主に受験者の本学科への適性を評価するために活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。

10) 志願書は点数化せず、地域社会学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。

■ 活動評価学校推薦型選抜

〈選考方法〉

提出された研究・活動実績説明書、調査書、志願書等の書類の総合判定により第1次選考を行います。第1次選考合格者に、小論文、プレゼンテーション、及び面接を課し、第2次選考の成績のみで合格者を決定します。

〈観点別評価項目〉

1. 「知識・技能」を評価するため、主に小論文、プレゼンテーション、調査書を活用します。
2. 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、主に小論文、プレゼンテーション、面接を活用します。
3. 「主体性・多様性・協働性」を評価するため、主にプレゼンテーション、調査書、志願書、面接を活用します。

- 志願書は点数化せず、地域社会学科のアドミッションポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。